

経営改善及び連携・活用に関する取組評価

(令和5(2023)年度)

法人名(団体名)	みぞのくち新都市株式会社	所管課	まちづくり局総務部庶務課
----------	--------------	-----	--------------

経営改善及び連携・活用に関する方針				
法人の概要	1 法人の事業概要 溝口駅周辺の地域経済活性化のため、「再開発ビルの管理・運営並びにこれに関する工事の調査、請負、企画、設計及びコンサルティング」、「都市再開発事業に関する調査、請負、企画、設計及びコンサルティング」などの事業を推進します。 2 法人の設立目的 溝口駅北口地区第1種市街地再開発事業の一環として平成9(1997)年9月に開業した再開発ビル(ノクティプラザ)の公正な管理・運営を行う第3セクターとして、平成7(1995)年に設立されました。法人の運営にあたっては、川崎市・地元権利者・株式会社丸井の三社の総意を運営の基本としています。 3 法人のミッション 商業及びコミュニティ機能が導入された大規模複合施設の全体的な調整や適正・公正な管理運営を行うとともに、地域社会に貢献する事業を通じて、溝口駅周辺地区の商業振興とまちづくりの発展に寄与します。			
	再開発ビルの管理・運営並びにこれに関する各種調査等の再開発事業関連施設の管理運営事業を通じ、個性と魅力にあふれた利便性の高い地域生活拠点等の整備推進を図ります。			
本市施策 における 法人の役割	法人の取組と関連する 市の計画	市総合計画上関連する政策等	政策	施策
			政策4ー5 魅力ある都市拠点を整備する	施策4ー5ー2 個性を活かした地域生活拠点等の整備
		関連する市の分野別計画	川崎市都市計画マスタープラン	
現状と課題	1 現状 ・平成9(1997)年に開業したノクティ1、ノクティ2(マルイファミリー)は、溝口駅前複合再開発のシンボリックビルとして、堅実な営業を持続し、溝口駅周辺の商業振興とまちづくりの発展に寄与してきました。 ・商業施設を管理運営する株式会社として、継続的な発展を目指した経営に努めた結果、純利益を計上していたが、新型コロナウイルス感染症の影響で純利益を計上することができなかったことから、商業動向や景気動向を踏まえた経営が必要となっています。 ・社会状況の変化が厳しい中、ESG(環境、社会、ガバナンス)に配慮した公正な管理運営に努めており、令和3(2021)年4月に「かわさきSDGsゴールドパートナー」として認証されました。また、令和3(2021)年3月からは「脱炭素アクションみぞのくち」にも参画し、市と連携しながら脱炭素社会の実現に向けた取組の推進を図っています。 2 課題 ・持続的に企業価値や施設価値の向上に取り組むとともに、地域や行政と連携しまちづくりへ寄与することが求められています。 ・経営の安定的運用を図るため収支状況の改善を図るとともに、継続的な自己収入の確保が求められています。 ・複合商業施設の管理運営会社として、公正な管理運営に努め、安定的・成長的な経営基盤づくりが求められています。			
	1 経営改善項目 ・地域に根ざした会社として地域貢献を行える経営を目指します。 ・株式会社として収益性の維持を図り持続的な経営を目指します。 ・複合商業施設の管理運営会社として、公正な管理運営に努め、安定的・成長的な経営基盤づくりに努めます。 2 連携・活用項目 個性と魅力にあふれた利便性の高い地域生活拠点等の特殊性を活かし、地域商業の活性化、持続可能なまちづくり、市政情報の発信などの取り組みを進めます。			

本市が法人に求める経営改善及び連携・活用に関する取組

4カ年計画の目標

- ・川崎市施行の市街地再開発事業に伴い開業した複合商業施設の管理運営会社として、公正な管理運営に努め、溝口の地域商業の活性化とまちづくりの発展に寄与してきました。引き続き、経営資産、資源等を活かした堅実な経営を継続してまいります。
- ・お客様や社会のニーズに的確に対応し、地域、お客様、ステークホルダーに信頼され、愛される商業施設へ進化し続ける努力を重ねるとともに、魅力ある施設づくり、環境にやさしい施設づくりを計画的に進めます。
- ・地域、行政等と連携し、地域生活拠点としてまちづくりに貢献していきます。
- ・安定的、継続的な経営を行うため、収益の確保に努めます。
- ・複合商業施設の管理運営会社として、公正な管理運営に努め、安定的・成長的な経営基盤づくりに努めます。

1. 本市施策推進に向けた事業取組

取組No.	事業名	指標	現状値 (令和3 (2021)年度)	目標値 (令和5 (2023)年度)	実績値 (令和5 (2023)年度)	単位	達成度 (※1)	本市による評価 ・達成状況 (※2) ・費用対効果 (※3)	今後の取組の方向性 (※4)
①	魅力あふれる再開発ビルの管理運営	来客者数	1,915	2,050	2,071	万人	a	B	Ⅱ
		入居テナント率	99.6	100	99.9	%	b		
		CO2排出量削減率	88	85	91	%	a		
		顧客満足度	85	64.2	86.4	%	b		
		事業別の行政サービスコスト	本市財政支出 (直接事業費)	—	—	千円	—	—	
②	地域、行政と連携したまちづくり貢献事業の実施	商業・地域関係者と協働したイベント開催数	3	4	5	回	a	C	Ⅱ
		ノクティ2屋上開放を利用した保育園児数	3,781	4,070	3,276	人	c		
		行政と連携した情報発信数	21	15	24	件	a		
		事業別の行政サービスコスト	本市財政支出 (直接事業費)	—	—	千円	—	—	

2. 経営健全化に向けた取組

取組No.	項目名	指標	現状値 (令和3 (2021)年度)	目標値 (令和5 (2023)年度)	実績値 (令和5 (2023)年度)	単位	達成度	本市による評価 ・達成状況	今後の取組の方向性
①	財務状況維持	経常収支比率	100.4	100.7	100.1	%	c	C	Ⅱ
		主要な売上高の推移(販売促進事業収入)	2,215,837	2,277,034	2,276,656	千円	b		

3. 業務・組織に関する取組

取組No.	項目名	指標	現状値 (令和3 (2021)年度)	目標値 (令和5 (2023)年度)	実績値 (令和5 (2023)年度)	単位	達成度	本市による評価 ・達成状況	今後の取組の方向性
①	適正公正な運営組織維持	職員研修参加者数	1,805	1,789	1,957	人	a	A	I

(※1)【a. 目標値以上、b. 現状値以上～目標値未満、c. 目標達成率60%以上～現状値未満、d. 目標達成率60%未満】

(行政サービスコストに対する達成度については、1). 実績値が目標値の100%未満、2). 実績値が目標値の100%以上～110%未満、3). 実績値が目標値の110%以上～120%未満、4). 実績値が120%以上)

(※2)【A. 目標を達成した、B. ほぼ目標を達成した、C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった、D. 現状を下回るものが多くあった、E. 現状を大幅に下回った】

(※3)【(1). 十分である、(2). 概ね十分である、(3). やや不十分である、(4). 不十分である】

(※4)【Ⅰ. 現状のまま取組を継続、Ⅱ. 目標の見直し又は取組の改善を行い取組を継続、Ⅲ. 状況の変化により取組を中止】

法人及び本市による総括

【令和4(2022)年度取組評価における本市の総括コメントに対する法人の受止めと対応】

・みぞのくち新都市圏は、ノクティブラザの公正な管理運営を行い、溝口駅周辺地区の商業集積、域圏人口の増加に対応し、地域の方々に愛され、個性と魅力にあふれた利便性の高い地域生活拠点づくりに努めてきました。令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響による利用者減が続くとともに、エネルギー価格等の高騰を主因とした水道光熱費の大幅な高騰などもあり、当期純利益の赤字が懸念されましたが、黒字を確保するとともに、地域社会とステークホルダー(お客様・テナント様・株主様・管理組合・共有者組合・従業員)に信頼され、愛されながら、永続的に成長していくことを目指し、経営方針に基づく各種事業を推進することができました。

・令和5年度につきましては、ウィズコロナからアフターコロナへの転換の兆しが見え隠れするなか、資産を有効に活用し将来に向けた投資を持続的に進めるとの経営方針に基づいて、施策投資を計画的に実施するとともに、地域のお客様をしっかりと見据えた販促・宣伝活動、積極的なリーシングの展開、居心地の良い環境整備、地域貢献事業を通じたまちづくりに寄与するなどにより、売上高がコロナ禍以前を上回り、着実に回復基調が続くとともに、高騰が続いていた電気料金、ガス料金に対する国の施策の継続などもあり、当期利益は黒字となりました。

【令和5(2023)年度取組評価の結果を踏まえ、本市が今後法人に期待すること、対策の強化を望む部分など】

・「本市施策推進に向けた事業取組」及び「業務・組織に関する取組」は、コロナ禍以降、初めて来客者数が2,000万人を超えるなど、概ね目標を達成しています。今後も、顧客満足度調査の結果等を踏まえた魅力あふれる施設運営を商業施設全体で行い、来客者数や顧客満足度の更なる向上に資する取組を推進することを期待します。

・「経営健全化に向けた取組」は、物価高騰の影響もあり、当期純利益は黒字を維持したものの目標未達成となっています。一方、経常収益がコロナ禍前の令和元年度を上回っていることや、余剰金を活用して必要な投資を行っていることから、健全な財務状況の維持に努めていることが認められます。魅力ある施設づくり、環境にやさしい施設づくりのため、計画的に必要な投資を続けるとともに、収支改善に向けた取組を着実に進めるべく、商業施設全体で取り組まれることを望みます。

・また、環境や社会に配慮した事業活動に継続的に取り組んでおり、市が推進するSDGsや脱炭素の取組にも大きく寄与していることから、引き続きこれらの事業活動に積極的に取り組まれることを期待します。

・今後も厳しい状況下での経営が続くことが予想されますが、目標の達成に向けて、市と協議を行いながら取組を進め、商業施設の管理運営事業を通じ、個性と魅力にあふれた利便性の高い地域生活拠点の形成に向けたまちづくりの推進に寄与することを期待します。

法人名(団体名)	みぞのくち新都市株式会社	所管課	まちづくり局総務部庶務課
----------	--------------	-----	--------------

1. 本市施策推進に向けた事業取組①(令和5(2023)年度)	
事業名	魅力あふれる再開発ビルの管理運営

計 画 (Plan)	
現状	平成9(1997)年に開業したノクティ1、ノクティ2(マルイファミリー)は、溝口駅前複合再開発のシンボリックビルとして、堅実な営業を持続し、溝口駅周辺の商業振興とまちづくりの発展に寄与してきましたが、社会状況の変化が厳しい中、ESG(環境、社会、ガバナンス)に配慮した管理運営を通して、持続的に企業価値や施設価値の向上に取り組むとともに、地域や行政と連携し、まちづくりに寄与することが引き続き求められています。
行動計画	・お客様や社会のニーズに的確に対応し、地域、お客様、ステークホルダーに信頼され、愛される商業施設へ進化し続ける努力を重ねるとともに、魅力ある施設づくり、環境にやさしい施設づくりを計画的に進めます。 ・地域、行政等と連携し、地域生活拠点としてまちづくりに貢献していきます。
具体的な取組内容	・お客様の安心・安全を確保しながら、積極的な販売促進活動や広報活動、魅力的なイベントの実施等、バランスの取れた営業活動に努め、来客数の増加を図ります。 ・顧客満足度向上に向け、地域動向や消費動向をより適切に分析し、お客様のニーズを的確に捉えながら、集客力や再来店率の高いテナントを維持・集積できるようリーシングに努めるとともに、空き区画の有効活用を図ります。 ・店舗、商品、施設設備、接客、キャンペーン、イベント、広報等の個別の満足度調査の結果を分析し、顧客満足度向上の取組を推進します。 ・再生可能エネルギー電力の100%利用を継続するとともに、省エネルギー対策の実施、ごみ減量化と資源化の推進等、環境や社会に配慮した事業活動を継続し、CO2排出量を削減します。

実施結果 (Do)	
本市施策推進に向けた活動実績	<p>【指標1関連:来客者数】《目標値 2,050万人/実績値 2,071万人》 ウィズコロナからアフターコロナへの転換の兆しを見据えながら、年間を通じた販売促進活動として、飲食・物販利用券プレゼント等のイベントや、ノクティビジョン・デジタルサイネージ・SNSを活用した広報活動、ポイントカードのアプリ化等に取り組み、来客者数の増加につなげました。</p> <p>【指標2関連:入居テナント率】《目標値 100.0%/R5実績値 99.9%》 テナント運営会社の都合により令和5年7月にフードコート内1店舗が撤退しましたが、積極的なリーシング活動(お客様のニーズ分析、営業活動・交渉等)を持続的に展開したことにより、同年11月に同区画へ1店舗の入居がありました。なお、令和5年度末時点において空区画が1ヶ所(3.3坪)ありますが、当該区画につきましては、店舗がないことで視界が広がり、テンパー(ガラス大扉)の見え方が改善されたことから、テナントを入居させずにフロア環境上有効な空間として維持しています。</p> <p>【指標3関連:CO2排出量削減率】《目標値 85%/実績値 91%》 令和3年度から開始した再生可能エネルギー100%電力の使用や、照明器具のLED化、照明の間引き、空調機・換気ファンの運転スケジュールの見直しなどの省エネルギー対策の取組、ごみ減量化・資源化の取組を継続する等、環境や社会に配慮した事業活動の展開、ガス使用量の減少、廃棄物リサイクル率の向上などにより、CO2排出量削減率が令和4年度から1%向上しました。</p> <p>【指標4関連:顧客満足度】《目標値 64.2%/実績値 86.4%》 来客者数、顧客満足度の向上などを旨として、情報発信やキャンペーンなど持続的な取組に加え、お客様のニーズを踏まえたポイントカードのアプリ化、人気キャラクターや次世代乗り物などトレンドかつ魅力的なイベントの実施などに取り組みました。</p> <p>なお、顧客満足度の調査方法については、お客様の価値観や生活行動の多様化に対応し、性別・年代別の偏りを無くすため令和4年度に一度変更を行いました。ノクティの運営に生かす観点からは、正確な顧客満足度、ニーズ把握に課題が生じたため、令和5年度の調査では再度変更をしております。</p> <p>〔令和3年度調査〕 ・店内ポスター及びメルマガによる告知により回答を誘導するお客様アンケート調査 ※課題点⇒コロナ禍における回答者数の確保、属性の偏り</p> <p>〔令和4年度調査〕 ・専門調査機関の保有する生活者パネルのうち、周辺地域に居住するノクティを利用した方を対象とした事前抽出(スクリーニング)調査 ※課題点⇒購買行動などの利用実態のある回答者が少なく、顧客満足度、ニーズ把握が困難</p> <p>〔令和5年度調査〕 ・令和3年度の調査方法を基本としつつ、性別・年代別の偏りを解消するために回答が少なかった属性の方に対する追加依頼を行うなど周知方法を改善</p> <p>【その他】 ①SDGsイベントへの登壇、②食品ロス削減アクションイベントへの参加、③市立高津高等学校「視聴覚委員会」取材、④行政、先進企業等視察受入、⑤エコシティかわさきフェス、夏休み自由研究講座、廃棄物利用ワークショップ等の開催</p>

評価 (Check)

本市施策推進に関する指標			目標・実績	R3年度 (現状値)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
1	来客者数		目標値		2,000	2,050	2,100	2,150	万人
	説明	テナント店舗の利用や各催事の参加などによる来客者数	実績値	1,915	1,945	2,071			
2	入居テナント率		目標値		100	100	100	100	%
	説明	テナント賃借床面積に対するテナント使用床面積の割合 ※R4～7年度の個別設定値:99.5(R1～3年度実績値の平均値)	実績値	99.6	99.9	99.9			
3	CO2排出量削減率		目標値		85	85	85	85	%
	説明	平成25(2013)年度比のCO2排出量の削減割合	実績値	88	90	91			
4	顧客満足度		目標値		86	64.2	88 65.2	89 66.2	%
	説明	お客様を対象にしたアンケート調査において満足・やや満足と回答があった割合 ※R4年度及びR5年度に調査方法及び対象集団を変更	実績値	85	63.2	86.4			

指標1 に対する達成度	a	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満 ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載
指標2 に対する達成度	b	
指標3 に対する達成度	a	
指標4 に対する達成度	b	

法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)

令和5年度は、ウィズコロナからアフターコロナへの転換の兆しを見据えた中での営業となりましたが、来客者数については、お客様ニーズを踏まえたリーシングの徹底、販売促進活動や発信力の強化、魅力的なイベントの企画・開催等に努めたことにより、集客力が高まり、令和4年度を126万人上回る約2,071万人となり、コロナ禍以前の96%まで回復しました。

入居テナント率については、令和5年度内に1店舗が撤退しましたが、積極的なリーシングの取組により、年度内に撤退部分への新規誘致に成功し、99.9%という高い入居テナント率を維持しました。

CO2排出量削減率については、エネルギー価格の高騰による影響を大きく受ける中でも、再生可能エネルギー100%電力の使用等の取組を継続したこと、ガス使用量の減少、廃棄物リサイクル率の向上などにより、令和4年度の90%を1%上回る91%を達成しました。

顧客満足度については、86.4%と目標値を大きく上回る結果となりましたが、これは令和4年度に変更した調査方法の課題に対し、速やかに改善を図り、令和3年度の調査方法を基本としつつ、性別・年代別の偏りを解消するなどの改善を加えた方法で調査を実施したことによるものであり、変更前(令和3年度の調査方法を前提とした目標値)における令和5年度の目標値が87%であったことから、指標に対する達成度は「b」としました。今後とも、本調査の結果から得られた評価点又は改善点を踏まえた取組を進めていきます。

また、その他の取組では、社会や環境に配慮した施設づくりや取組を進め、企業価値や施設価値の向上を図ることができました。

本市による評価

達成状況

- A. 目標を達成した
 B. ほぼ目標を達成した
 C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった
 D. 現状を下回るものが多くあった
 E. 現状を大幅に下回った

B

区分

区分選択の理由

来客者数は、販売促進活動の強化など、集客力を高める取組を行ったことにより、また、CO2排出量削減率は、再生可能エネルギー100%電力の使用を継続したことなどにより目標を達成している。

一方、入居テナント率は、わずかに目標値に達しなかったものの、テナントが撤退した区画への新規誘致を速やかに実施することで高い実績値を維持している。

また、顧客満足度は、調査方法等を変更したことから、目標値と実績値を単純比較することはできないものの、満足度向上に向けた各種キャンペーンやイベントも実施しており、かつ類似の調査方法を採用した令和3年度を上回る満足度が得られていることから、一定の成果があったと考えられる。

他にも、社会や環境に配慮した事業活動や、市が推進するSDGsや脱炭素の活動にも積極的に取り組んでおり、魅力あふれる再開発ビルの管理運営を適切に行っているため。

行政サービスコスト			目標・実績	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
1	事業別の行政サービスコスト		目標値		—	—	—	—	千円
	説明	本市財政支出 (直接事業費)	実績値		—	—	—	—	
行政サービスコスト に対する達成度			1). 実績値が目標値の100%未満 2). 実績値が目標値の100%以上～110%未満 3). 実績値が目標値の110%以上～120%未満 4). 実績値が目標値の120%以上						
法人コメント(行政サービスコストに対する達成度について)									
本市による評価	費用対効果 (「達成状況」と「行政サービスコスト」に対する達成度」等を踏まえ評価)	区分			区分選択の理由				
		(1). 十分である (2). 概ね十分である (3). やや不十分である (4). 不十分である							

改善 (Action)

	方向性区分	方向性の具体的内容																													
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性	Ⅰ. 現状のまま取組を継続 Ⅱ. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 Ⅲ. 状況の変化により取組を中止	Ⅱ																													
		<p>・先行き不透明な厳しい社会状況が続く中、安全・安心を確保しながら営業活動をバランスよく展開し、集客を高める販売促進活動や発信力の強化、新たなイベントの実施、魅力あるテナントの誘致等に取り組み、営業収益の確保や地域の賑わいの創出を目指します。</p> <p>・上記「実施結果(Do)」に記載のとおり、令和4年度に、顧客満足度の調査方法を変更したことに伴い、令和5年度以降の目標値を令和4年度実績値から各年度1%ずつ上昇させる形に変更しましたが、令和5年度に、令和3年度の調査方法を一部改善した方法へ再度変更したことにより、目標値との整合性が再び取れなくなったことから、令和6年度以降の目標値を、令和3年度実績値から各年度1%ずつ上昇させる形に変更します。</p> <table><tr><th></th><th>実績値</th><th colspan="5">目標値</th></tr><tr><th></th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th></tr><tr><td>当初設定</td><td>85</td><td>86</td><td>87</td><td>88</td><td>89</td></tr><tr><td>R4調査方法変更後</td><td>85</td><td>86</td><td>64.2</td><td>65.2</td><td>66.2</td></tr><tr><td>今回変更後</td><td>85</td><td>86</td><td>64.2</td><td>88</td><td>89</td></tr></table> <p>・令和5年度の顧客満足度調査の結果を踏まえ、「環境・居心地・雰囲気」や「設備・サービス」「接客サービス」の維持向上に努めるとともに、「品揃え」「店舗揃え」などの改善に取り組み、顧客満足度や来客数の向上を目指します。</p> <p>・お客様や社会のニーズに適応し、経営資源を有効的に活用して企業価値や施設価値の向上を図るなど、会社の経営レベルを高め、地域、お客様、ステークホルダーに信頼され、愛される商業施設へ進化し続ける努力を重ねるとともに、魅力ある、環境にやさしい施設づくりを引き続き進めます。</p>		実績値	目標値						R3	R4	R5	R6	R7	当初設定	85	86	87	88	89	R4調査方法変更後	85	86	64.2	65.2	66.2	今回変更後	85	86	64.2
	実績値	目標値																													
	R3	R4	R5	R6	R7																										
当初設定	85	86	87	88	89																										
R4調査方法変更後	85	86	64.2	65.2	66.2																										
今回変更後	85	86	64.2	88	89																										

法人名(団体名)	みぞのくち新都市株式会社	所管課	まちづくり局総務部庶務課
----------	--------------	-----	--------------

本市施策推進に向けた事業取組②(令和5(2023)年度)

事業名	地域、行政と連携したまちづくり貢献事業の実施
-----	------------------------

計 画 (Plan)

現状	<ul style="list-style-type: none"> ・開業以来、地域に根差した会社として、地域を盛り上げ、地域の皆様に愛着のあるイベントを実施し、まちづくりに貢献しています。 ・ノクティ2の屋上広場は、区役所と連携した区内の園庭のない保育園(児)への利用開放を行い、保育活動の充実に貢献しています。 ・東急線と南武線の結節点で多くの人が集い、行き交う溝口駅前の商業施設の特性を活かし、大型ノクティビジョンやノクティ1・2ビルのデジタルサイネージ表示設備等を利用し、行政と連携した市重要施策の発信・提供を行っています。
行動計画	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年多くの方々に楽しく参加していただける季節ごとのイベントを、今後も継続して開催します。イベントの開催を通して地域の連帯とまちづくりに寄与していきます。 ・区内の園庭のない保育園(児)への屋上庭園の開放利用を区役所と連携し引き続き促進します。 ・ノクティが有する機能を活用し、行政と連携した行政情報の発信・提供を行っていきます。
具体的な取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地域団体、行政、学校、保育園、商店会等と連携し、協議・調整を図りながら、長年地域の交流とまちづくりに寄与してきた溝口駅前納涼盆踊り大会、市民コンサート、溝口キラリデッキイルミネーション、新春(初売り)イベントや、令和4年度新たに実施したNOCTYピアノを継続的に実施し、地域の活性化やまちづくりに貢献します。 ・川崎市市制100周年記念事業実行委員会へ参加し、事業のPRや、協賛を通じて、川崎市(高津区)への愛着と誇りを醸成する取組を推進します。 ・保育園の屋上利用については、高津区役所と連携し、利用環境の改善に向けて、保育園へのヒアリングを実施するなど、園庭のない保育園の保育活動に資するよう利用促進を図ります。 ・大型ビジョン等を活用し、行政や地域と連携して、効果的な情報発信を行います。

実施結果 (Do)

本市施策推進に向けた活動実績	<p>【指標1関連: 商業・地域関係者と協働したイベント開催数】《目標値4回/実績値5回》</p> <p>①第26回溝口駅前納涼盆踊り大会については、令和5年8月5日(土)、6日(日)に、4年ぶりに開催し、両日で延べ5,584人が来場しました。</p> <p>②第24回NOCTY市民コンサートについては、令和5年9月23日(祝)に洗足学園音楽大学のご協力をいただき、3年ぶりに高津市民館大ホールで開催し、296人の参加がありました。</p> <p>③第24回溝口駅前キラリデッキイルミネーションについては、令和5年11月10日(金)に点灯式を開催、翌年1月31日(水)までの83日間実施しました。また、再生可能エネルギー100%の電力活用による「脱炭素アクションみぞのくち」のPRに加え、高津区役所と連携して、「川崎市制100周年」の応援装飾を新たに実施しました。</p> <p>④新春(初売り)イベントについては、令和6年1月4日(木)午前中に諏訪神社祭囃子保存会の御協力により、お囃子と祝舞を披露、午後は市立高津高等学校書道部による書道パフォーマンスを実施しました。</p> <p>⑤NOCTYピアノ(街角ピアノ)は、令和6年3月末までの延べ14日間において、946人の参加がありました。</p> <p>【指標2関連: ノクティ2屋上開放を利用した保育園児数】《目標値4,070人/実績値3,276人》</p> <p>区役所と連携しながら利用促進等に努めましたが、天候不良や熱中症警戒アラート発表等による中止が多く、利用園児数は令和4年度比75.1%の3,276人(1,084人減)となりました。なお、利用園児数に中止日の申込園児数を加えた人数は5,610人となり、令和4年度の実績値を超えています。</p> <p>【指標3関連: 行政と連携した情報発信数】《目標値15件/実績値24件》</p> <p>ノクティビジョン等を活用し、24件(有償5件、無償19件)の行政情報の発信に協力しました。</p> <p>【その他】</p> <p>①市制100周年実行委員会への参加、同記念事業への協賛、ゴールドメディアパートナーの認定、②かわさきTEKTEK(健康ポイント事業)への協賛、③市民コンサート同日「ファミリーコンサート」開催(449人参加)、④川崎フロンターレ及び川崎ブレイブサンダースのオフィシャルスポンサーとして冠試合を開催し市民等を御招待、ノクティ内に常設のキャンペーンコーナーを設置、⑤「おんまち・みぞのくちライブ」の開催、⑥ハロウィンキッズ&パレードの実施、⑦消防、防犯イベントへの協力、⑧脱炭素アクションみぞのくちへの参加等</p>
----------------	--

評価 (Check)

本市施策推進に関する指標			目標・実績	R3年度 (現状値)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
1	商業・地域関係者と協働したイベント開催数		目標値		4	4	4	4	回
	説明	商業・地域関係者と協働し実施しているイベント開催数	実績値	3	4	5			
2	ノクティ2屋上開放を利用した保育園児数		目標値		1,000	4,070	4,070	4,070	人
	説明	屋上開放を利用した保育園の園児数	実績値	3,781	4,360	3,276			
3	行政と連携した情報発信数		目標値		15	15	15	15	件
	説明	ノクティ設備を活用した行政情報の発信数	実績値	21	15	24			

指標1
に対する達成度

a

指標2
に対する達成度

c

指標3
に対する達成度

a

- a. 実績値が目標値以上
b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満
c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満
d. 実績値が目標値の60%未満

※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載

法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症の5類移行を受け、溝口駅前納涼盆踊り大会を4年ぶりに開催しました。その他、地域関係者や商業関係者の御理解と御協力をいただき、NOCTY市民コンサート等4件、盆踊り大会を含め計5件のイベントを開催しました。開催した各イベントは地域を盛り上げ、地域の皆様の愛着のあるイベントとして実施することができました。

保育園の屋上広場の利用については、区役所と連携した取組を継続するなど、保育園に気軽に御利用いただけるよう努めたことにより、多くの保育園に御利用いただくことができ、園庭のない保育園の保育活動の充実に貢献することができました。

行政と連携した情報発信については、ノクティビジョンやデジタルサイネージを活用し24件の情報発信に協力しました。その他、ノクティ館内の展示スペースを活用し、市制100周年などの展示及びポスター掲示により情報発信に協力しました。

また、その他の取組では、「音楽のまち・かわさき」「スポーツのまち・かわさき」「脱炭素アクションみぞのくち」などの市の事業と連携した取組を進め、まちづくりに貢献しました。

本市に
よる評価

達成状況

- A. 目標を達成した
B. ほぼ目標を達成した
C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった
D. 現状を下回るものが多くあった
E. 現状を大幅に下回った

C

イベント開催数は、イベント5件を全て開催したことにより、また、行政情報発信数は、ノクティビジョン等を活用して市制100周年などの情報発信を行ったことにより目標を達成している。
一方、屋上広場を利用した保育園児数は、天候不良等による中止が多く、目標値に達しなかったものの、利用園児数に中止日の申込園児数を加えた人数は令和4年度の実績値を超えていることから、地域の行政需要に対応した保育環境の充実に貢献したと評価できる。
他にも、市の事業と連携したイベントを複数実施するなど、行政と連携したまちづくりや地域の賑わいの創出に寄与しており、一定の成果があったため。

行政サービスコスト			目標・実績	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
1	事業別の行政サービスコスト		目標値		—	—	—	—	千円
	説明	本市財政支出(直接事業費)	実績値	—	—	—			

行政サービスコスト
に対する達成度

- 1). 実績値が目標値の100%未満
2). 実績値が目標値の100%以上～110%未満
3). 実績値が目標値の110%以上～120%未満
4). 実績値が目標値の120%以上

法人コメント(行政サービスコストに対する達成度について)

本市に
よる評価

費用対効果
(「達成状況」と「行政サービスコストに対する達成度」等を踏まえ評価)

- (1). 十分である
(2). 概ね十分である
(3). やや不十分である
(4). 不十分である

区分

区分選択の理由

改 善（Action）			
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分		方向性の具体的内容
	I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止	II	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、安全・安心を確保したイベントの形態や内容について、地域関係者や団体等と協議・調整を図りながら、長年、地域の交流とまちづくりに寄与してきたイベントの継続的かつ発展的な開催を目指します。 ・園庭のない保育園の保育活動に資するよう、区役所と連携しながら利用促進に努め、利用環境の改善を図るために継続的にヒアリングを実施するとともに、安全・安心な環境の提供に努めます。 ・引き続き、行政と連携し効果的な情報発信や、市が推進する事業の取組に努めます。 ・川崎市制100周年記念事業への協賛、協力を行います。

法人名(団体名)	みぞのくち新都市株式会社	所管課	まちづくり局総務部庶務課
----------	--------------	-----	--------------

2. 経営健全化に向けた取組①(令和5(2023)年度)

項目名	財務状況維持
-----	--------

計 画 (Plan)

現状	商業施設を管理運営する株式会社として、継続的な発展を目指した経営に努めた結果、純利益を計上してきたが、新型コロナウイルス感染症の影響で純利益を計上することができなかったことから、商業動向や景気動向を踏まえた経営が必要となっています。
行動計画	安定的、継続的な経営を行うため、毎年、主要な売上高を1%ずつ増加させ、経常収支比率も0.1から0.2%ずつ増となるよう、収益の確保に努めます。
具体的な取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・社会環境や経営環境の変化に対応しながら、積極的な営業活動、販売促進活動、お客様のニーズに対応したテナントの見直し、お客様にとって居心地の良い環境整備等に取り組むとともに、収益構造の見直しや経費削減等を実施することにより、経常収支比率の0.5%以上の増加を目指し、会社の安定的・継続的な経営基盤づくりに努めます。 ・安心・安全を確保しながら、積極的な販売促進活動や広報活動の実施等、バランスの取れた営業活動に取り組むとともに、お客様のニーズを的確に捉えたりーシング等にも努め、主要な売上高の1%以上の増加を図ります。

実施結果 (Do)

経営健全化に向けた活動実績	<p>【指標1関連:経常収支比率】《目標値 100.7%／実績値 100.1%》</p> <p>【指標2関連:主要な売上高の推移(販売促進事業費)】《目標値2,277,034千円／実績値2,276,656千円》</p> <p>来客者数が増加し、テナント売上高が伸長したことにより、賃料収入やクレジット収入が増収となるなど、経常収益は令和4年度比10,451千円増の2,286,684千円、主要な売上高は令和4年度比9,814千円増の2,276,656千円となりました。</p> <p>また、将来への施設・設備への投資として、資産とのバランスを考慮しながら、客用通路環境改善や、客用トイレドア改修、防犯カメラ更新、ポイントアプリ導入などの施策投資を計画的に実施し、お客様の利用環境の改善に努めたことから、経常費用は令和4年度比12,149千円増の2,283,814千円となりました。</p> <p>【その他】</p> <p>テナントとの各種取引が財務状況の主要要素となっている中、お客様ニーズを踏まえたリーシングを徹底して空き区画への早期出店を図るなど、テナントとの取引高の確保に向けて取り組みました。</p>
---------------	--

評価 (Check)

経営健全化に関する指標			目標・実績	R3年度 (現状値)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
1	経常収支比率		目標値		100.5	100.7	100.9	101.0	%
	説明	経常費用(営業費用+営業外費用)に対する経常収益(営業収益+営業外収益)の割合 ※R4~7年度の個別設定値:100.3(R1~3年度実績値の平均値)	実績値	100.4	100.2	100.1			
2	主要な売上高の推移(販売促進事業収入)		目標値		2,254,489	2,277,034	2,299,805	2,322,803	千円
	説明	営業収益のうち主要な売上高である販売促進事業の収入	実績値	2,215,837	2,266,842	2,276,656			
指標1 に対する達成度			C	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上~目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上~現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満 ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載					
指標2 に対する達成度			b						
法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)									
<p>ウィズコロナからアフターコロナへの転換の兆しを見据えた中で、令和4年度に引き続き、テナント等と営業努力を重ねるなど、商業施設一体となって取組を進めてきた結果、来客者数は令和4年度比106%の約2,071万人となり、主要な売上高は令和4年度比100.4%の2,276,656千円、経常収支比率は100.1%、当期純利益は766千円の黒字となりました。</p> <p>水道光熱費の世界的高騰が長期化することを予想しつつも、法人の設立目的や経営方針に基づき、資産とのバランスを考慮しながら、今後も、再生可能エネルギー100%電力の使用や、計画的な設備リニューアルなど将来への投資を継続し、ノクティプラザの永続的な成長を続けるための会社経営に努めてまいります。</p>									
<div>本市による評価</div>	達成状況	区分			区分選択の理由				
		A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った			C	経常収支比率、主要な売上高のどちらも目標値に達しなかったものの、令和4年度から来客者数が大幅に増加し、テナント賃料収入やクレジット収入が増収となったことや、経常収益がコロナ禍前の令和元年度を上回ったことは評価できる。 他にも、財務状況等を考慮しながら、計画的に施設・設備の改修を行うなど、お客様の利用環境の改善にも努めており、魅力ある施設づくりを着実に進めているため。			

改善 (Action)			
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分		方向性の具体的内容
	Ⅰ. 現状のまま取組を継続 Ⅱ. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 Ⅲ. 状況の変化により取組を中止	Ⅱ	ウィズコロナからアフターコロナへの転換の兆しや物価高騰等の社会経済情勢の急激な変化に伴い、お客様の生活行動や社会ニーズが多様化する中、ESG(環境・社会・ガバナンス)を意識した経営を着実に実践するとともに、将来に向けた企業価値や施設価値の向上に持続的に取り組み、お客様・地域社会・ステークホルダーの皆様にさらに愛されるノクティプラザに進化させ、商業振興とまちづくりの発展に寄与します。

法人名(団体名)	みぞのくち新都市株式会社	所管課	まちづくり局総務部庶務課
----------	--------------	-----	--------------

3. 業務・組織に関する取組①(令和5(2023)年度)

項目名	適正公正な運営組織維持
計 画 (Plan)	
現状	社会状況の変化が厳しい中、ESG(環境、社会、ガバナンス)に配慮した公正な管理運営に努めています。
行動計画	複合商業施設の管理運営会社として、公正な管理運営に努め、安定的・成長的な経営基盤づくりに努めます。
具体的な取組内容	複合商業施設(ノクティ)の管理会社として定期的な業務運営会議や、各種会議、研修等を通じて、法令を遵守した運営が行われる体制を維持するとともに、管理会社とテナントが組織的に業務を運営するために商業施設(ノクティ)に勤務する職員を対象とした施設の運営方針、会計システムや電子支払システムなどの会計管理、建物・設備などの施設管理、消防・防犯などの安全衛生管理、お客様への接遇や情報発信などの店舗管理などの研修を実施します。

実施結果 (Do)

業務・組織に関する活動実績	<p>【指標1関連:職員研修参加者数】≪目標値1,789人/実績値1,957人≫</p> <p>①新人導入研修 246人、②安全衛生管理研修 1,175人、③WEBクレーム研修 450人、④人材育成・指導力向上研修 15人、⑤ミステリーショッパー研修 56人、⑥SNS研修 15人 計1,957人</p> <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none">・令和5年10月開始のインボイス制度と令和5年度税制改正対応の電子帳簿等保存制度に対応するため、必要な対策を整理し、システムの改修及び業務プロセスの更新を完了し、円滑に運用を開始しました。・ICTを活用した資料の電子共有など、テナント様とのコミュニケーション強化を図りました。・電子会議の実施など、デジタルツールを活用した社内業務の改善を図りました。
---------------	---

評価 (Check)

業務・組織に関する指標			目標・実績	R3年度 (現状値)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
1	職員研修参加者数		目標値		1,789	1,789	1,789	1,789	人
	説明	商業施設に勤務する職員を対象とした研修への参加者数	実績値	1,805	1,848	1,957			
指標1 に対する達成度			a	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満 ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載					
法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)									
情報共有ツールを活用したテナントとのコミュニケーションの強化を図るとともに、定期的な業務運営会議や各種会議、研修等に取り組み、法令遵守を徹底した健全な組織運営を図りました。									

本市による評価	達成状況	区分		区分選択の理由
		A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った	A	

改善 (Action)

実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分		方向性の具体的内容
	I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止	I	
			社会の大きな変化に対応し、地域の皆様やステークホルダーの皆様に愛され信頼される経営活動を行い、また、テナントスタッフの皆様や社員がともに地域生活拠点としての商業施設を支え続けられるよう働く環境の改善に積極的に取り組みます。

